

ガチャでフードロスをなくす

ハビタバ



シールをあつめて
ガチャをまわして



食品ロスを
減らしちゃおう！



会社名 株式会社ミライデザインGX

所在地 東京都千代田区神田松永町104 TSKビル3F

代 表 濱田 岳

設 立 2022年9月

事 業 スーパーマーケットの経営改善支援
食品のてまえどり促進サービス「ハピタベ」の提供

受 賞 静岡県SDG s ビジネスアワード2022 **優秀賞**
第4回新潟SDG s アワード **優秀賞**



代表取締役：濱田 岳 (はまだ たけし)



- 1997年高知県のご当地スーパー 株式会社サニーマート入社、21年間勤務
- 店舗スタッフ青果→青果バイヤー→旗艦店店長→企画販促部Mgを歴任
- 2016年頃スーパーの恵方巻の大量廃棄が社会問題として顕在化
- 食品廃棄ロス問題に取り組みたいと決意し転職
- 2018年食品廃棄削減プログラムを開発し実験スタート
- 2022年6月全人類が最も取り組まなければならない課題の一つであるカーボンニュートラルの実現と地域社会の共創を目指したPJTを起ち上げる
- 2022年9月 株式会社ミライデザインGX設立 代表取締役に就任

現場で実験を繰り返して大幅に食品ロスを削減できる独自のメソッドを確立し、各企業で再現することに成功。スーパー・マーケット業界の活性化と食品ロス削減を通して、子どもの笑顔・地域の活性化・企業利益の向上・喫緊の地球課題であるカーボンニュートラルの実現に貢献することをソーシャルビジネスとして成立させたいと思っています。



私達が解決したい社会課題



経済損失

二酸化炭素
排出

フードロス

フードマイレージ

廃棄処理費用



世界では

年間 約 **400兆円**

\equiv 約 **9.3億トン**



日本では

年間 約 **4兆円**

＝ 約 **472万トン**



小売業では

年間 約 **4000億円**

＝ 約 50万トン



スーパーマーケットの 課題と可能性



スーパー マーケットの課題と可能性

ミライテクノロジ

店舗数：約23,000店舗

売上額：約13兆307億円

利益率：約 **1 %** (約1,330億円)

廃棄額：売上の約 **1 %** (約1,330億円)

値引額：売上の約 **4 %** (約5,320億円)

売上高営業利益率

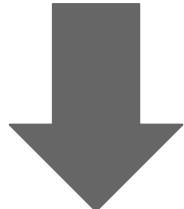
売上高規模	集計有効企業数	平均	中央値
全体	316	0.99 %	0.96 %
30億円未満	69	-0.03 %	-0.21 %
30億円以上 100億円未満	68	0.35 %	0.19 %
100億円以上 300億円未満	71	1.10 %	0.97 %
300億円以上 1000億円未満	64	1.60 %	1.39 %
1000億円以上	44	2.48 %	1.75 %

業界推計値

図表 1-9 重視する経営課題



低い利益率に対して、高い廃棄・値引ロス率



経営を大きく圧迫

廃棄・値引ロス率の改善が
経営改善・社会課題解決 につながる！



ロスの発生原因



品切れ回避のための過剰発注



残った商品は “てまえ” に陳列

新しい商品は “奥” に
詰めたらOK♪



新しい商品を選ぶため “奥” から取る

どうせなら新しい方が
いいよね♪



高額なAI発注システム を導入しても
ロスはなくならない



消費者庁をはじめ国の取り組み

ミライテクノロジーズ



運動や啓発では効果がない！



ひらめき



3人のこども



ご褒美の外食はどこ？



ひらめきの原泉

ミライテクノロジ



来店促進



お腹いっぱい。。。
だけど、〇〇〇したい！！



問題：〇〇〇に入るフレーズは？

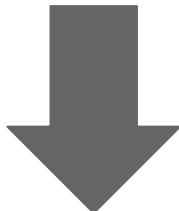


頑張って食べる =点数アップ



子どものガチャを回したい欲求

経済合理性では説明ができない！



ナッジ理論（行動経済学）



ガチャの販促効果はえぐ
い

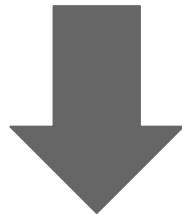
来店促進×点数アップ



てまえどり



ガチャ



ハピタバ



サービス内容

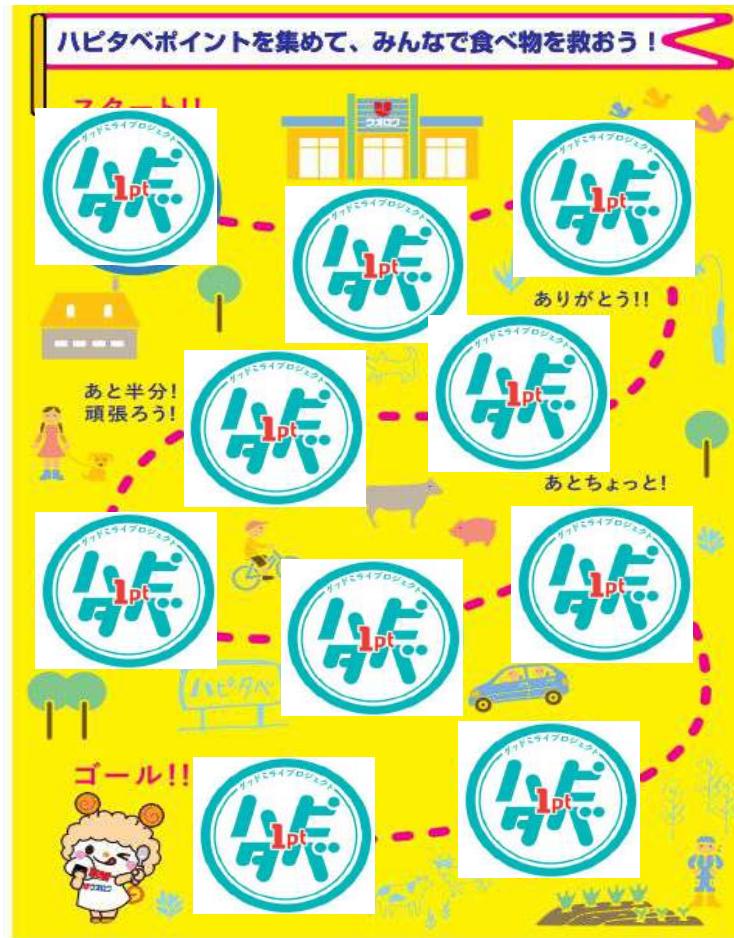




「てまえどり」してもらいたい商品に
ハピタベシールを貼る



シール10枚集めてガチャができる



子供は喜んでシールを集めだす



親はガチャが無料で財布に優しい



シールをプレゼントすると孫が喜ぶ



ガチャが3世代を笑顔に！



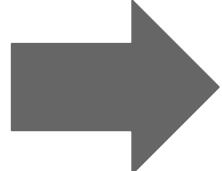
若者からの提案



10代後半～20代社会人からの意見



シールを貼って寄付・地域へ貢献できる





ハピタベシールで

ほぼ全世代が笑顔になります



子ども世代

10代後半～20代世代

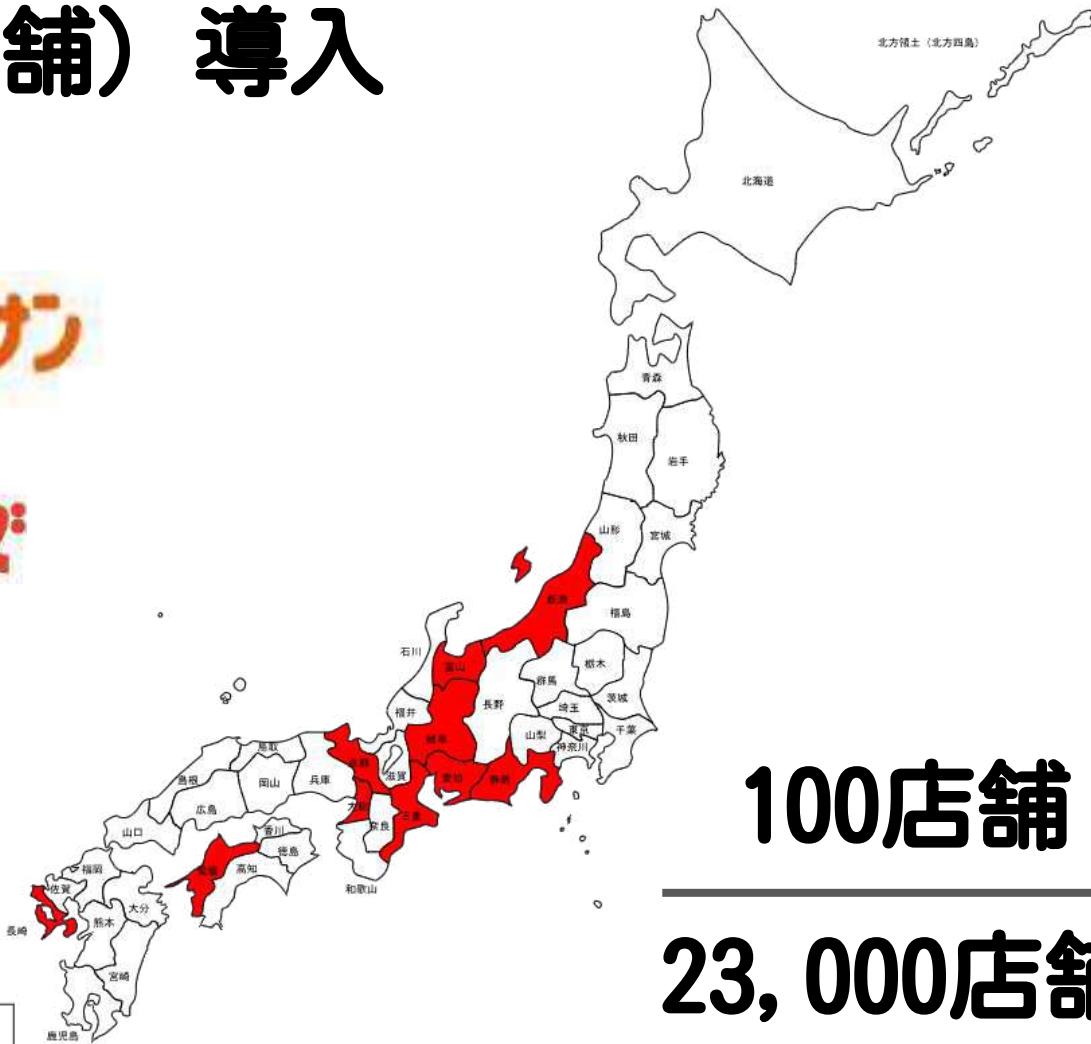
親世代

祖父母世代

実績



2年で10社（約100店舗）導入



100店舖

23,000店舗



食品ロス削減総額

2年で約3億6千万円

※2022年10月～2024年10月



廃棄量→最大24%減

寄付額→100万円 (愛知こどもが輝く未来基金)など



その他 (表彰歴)

- ・第4回新潟SDGsビジネスアワード
- ・2023静岡県SDGsビジネスアワード

優秀賞受賞
優秀賞受賞

